



すごい！楽しい！西村さんのわくわくコンサート

11月7日(木)、公共ホール音楽活性化事業（「おんかつ」といいます）で、オペラ歌手の西村悟さん、ピアニストの中村貴美さんが本校を訪問して、ミニコンサートを開いてくれました。プロを目の前に、参加した4年生以上の子ども達は緊張気味でしたが、西村さんとの会話でほぐれ、楽しく聴くことができました。外国語の歌詞が多かったのですが、目や肌でも聴き、表情や身振りからも曲を楽しむ音楽を教わり、実践しました。

日本語の歌詞では、「鷗（カモメ）」（三好達治作詞）という曲が印象的でした。『ついに自由は彼らのものだ』という歌詞が何回も出てきます。鷗は、学徒出陣前の学生達の白い制服からのイメージで、『彼ら』とは、戦争で命を落とした学生達の魂を表しています。その歌詞は、戦争が終わり戦死者の魂が自由に躍動しているさまを、カモメの姿に託して表現しているのだと語ってくれました。西村さんは、この歌を通して反戦の気持ちを伝えているのだそうです。



西村さんは、バスケットボールの選手になりたかったそうですが、いろいろあって今はオペラ歌手に。でも、夢はいろいろと変わっても、常に夢は持ち続けていたそうです。最後は子ども達の夢をしっかり応援してくれました。とても感銘を受けた西村さんのミニコンサートでした。

不審者対応訓練・防犯教室



11月11日(月)に、不審者対応訓練と防犯教室を実施しました。小松島警察署や地域の安全を守る会など、多くの方々にご参加・ご指導いただきました。

不審者対応訓練は、不審者が学校にやって来たときの避難訓練です。今回は、1階東出入口から刃物を持った不審者が侵入したことを想定しての訓練です。子ども達は、計画に従って静かに素早く所定の場所に避難できました。阻止する先生方は、危険すぎ・・・（焦り）未然に防ぐことと子ども達の安全が最も重要ですので、しっかり話し合い、対策の改善をしていきます。

防犯教室では、知らない人に声を掛けられたときの対応訓練をしました。「いかのおすし」を基本とした訓練です。まさかのときに、声を発し、不審者の特徴を報告できるよう、毎年実施しています。

食育パワーアップ作戦



11月14日(木)と19日(火)に、2・4・6年生が、生小の栄養教諭から、食育について学びました。テーマは2年生が「給食作りについて知り、給食を作ってくれる人に感謝しよう」、4年生が「何をどう食べればよいかを知り、使えるようになろう」、6年生が「朝ご飯の効果を知り、よりよい朝ご飯を食べるための工夫を考える」でした。毎年偶数学年が発達段階に応じた食育学習をしています。生涯にわたって健康でいられるよう、知識と実践力を養っていきます。



〈クイズ〉不審者は、黒い服を着ていて、帽子やめがね、マスクを身に付けているおじさんで、着物を着た女の人やアイドルみたいな男の人は不審者ではない。○か×か？